

施設名	足立北綾瀬雲母保育園
施設所在地	東京都足立区大谷田5-26-19
法人名	株式会社モード・プランニング・ジャパン

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

身近な自然に対して「なぜ」「どうして」と疑問をもち、自ら関わろうとする姿が多く見られる時期である。自然をテーマにすることで、季節の変化や生き物への気づきを深め、友だちと考えや思いを共有しながら主体的に探究する経験につながると考えた。そのため、子どもたちの好奇心や探究心を育む題材として「自然」を設定した。

2. 活動スケジュール

2025/5月～野菜栽培開始

2025/6月 園庭にいる虫の捕獲し園内で観察

2025/8月 キャンプ村へ行き園庭や公園、山の自然物の違いを観察

2025/10月～収穫した野菜や拾った自然物を顕微鏡で観察(4・5歳児)、東洲江園庭で植物や生き物を観察(3歳児)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

身近な自然に触れられるよう、4歳児はズッキーニやかぶ、5歳児はオクラやもやし、シイタケの栽培を行った。園庭や散歩先で草花や木の実、生き物を観察できる環境を整え、子どもが気づいたことや不思議に思ったことを試したり調べたりできるよう、図鑑、顕微鏡、虫かごなどを用意し、興味に応じて自由に使えるようにした。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ やさい、きのこの栽培、観察と収穫をし、収穫した野菜は顕微鏡で普段見えない部分の観察をした。
- ・ 園庭や公園で見つける植物、虫を見つけ園内で観察。キャンプ村（山）にいる植物と虫を観察し普段見られるものとの違いを見つけた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

- ・ 園庭で見つけた虫をむしかごに入れて観察する中で、形や動き、えさの違いに気づき、「何を食べるのかな。」「どうして動くの。」などの疑問をもつ姿が見られた。
- ・ キャンプ村で見つけた自然の違いを見つけ驚きと興味を示す様子が見られた。
- ・ おくら栽培 苗植えから生長を継続的に観察し、葉や茎の変化に気づきながら世話をを行った。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

虫の観察や季節ごとの栽培活動、顕微鏡を使った観察など、身近な自然に継続して関わる中で、子どもたちは小さな変化に気づき、「なぜだろう」「どうなっているのだろう」と自ら問いをもつようになった。気づいたことを友だちと伝え合ったり、これまでの経験と比べたりしながら、考えを深めていく姿が見られた。また、植物の生長の違いや育ち方の特徴に触れることで、世話をする大切さや自然への親しみも育っていった。顕微鏡観察では、肉眼では見えない世界に驚きや興味をもち、より詳しく見ようとする探究的な姿へとつながった。これらの経験を通して、自然への関心や探究心に加え、思考力や表現力、友だちと協働する力が育まれた。

施設名	足立北綾瀬雲母保育園
施設所在地	東京都足立区大谷田5-26-19
法人名	株式会社モード・プランニング・ジャパン

1. 活動のテーマ

<テーマ>

色

<テーマの設定理由>

(2歳児) “どんな色が好き”のペーパーサートを通し、赤、青、黄以外の色の名称も覚え、遊びの中で色から果物を連想するなど、色への関心が見られた。フィンガーペイントを行った際に、異なる色を混ぜ合わせ色の変化を楽しむ姿も見られ、このテーマに設定した。

(0歳児)

- ・様々な遊びの中でも、色のはっきりとした玩具を好む子が多くいた。また、色によっての子ども達の反応の差も見られていた。“どんな色が好き”の歌や絵本を通して色に興味を持つ姿が多く見られていた。その為、色を見るだけでなく、実際に触れることで興味関心を深めていけるよう、このテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

(2歳児)

2025/10月～とんぼめがね作成、散策遊び、色の足し算表作り

2025/11月～絵具遊び、色水遊び

(0歳児)

2025/7月～色水遊び、シフォン遊び

2025/9月 東洲江園庭で新緑の観察

2025/11月～絵具感触遊び、寒天遊び、2026/1月 ボディペイント

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

ペットボトル（大小）、食紅、絵の具、上下の白い洋服、ブルーシート、模造紙を用意。

戸外活動では、葉や花の色が豊かな公園や道を選んで散歩した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

(2歳児)

- ・とんぼめがねを作成し空を観察。レンズの色で空の色も変わることを見出し色探しの探究をした。
- ・色の足し算表を作成。手のひらを合わせて絵具を混ぜ、色の変化と感触を楽しんだ。
- ・タンポの筆でお絵描き活動。興味のある色で自由に絵を描き重なった部分の色の変化を観察した。

(0歳児)

- ・絵具の感触を楽しみながら色探しをした。
- ・庭園やお散歩で色探しをした。新緑や紅葉を見て色の違いを観察した。
- ・絵具遊び、寒天遊び、ボディペイントで色を身近に感じながら色の変化や違いを発見した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(2歳児)

おまご遊びでは食材に見立てたフェルトなどを色から野菜や果物に結び付けて遊ぶ姿が多くみられるようになり、発想力豊かにイメージを広げ見立て遊びをする姿が見られている。また、色塗りやお絵描きの際に異なる色を混ぜ色を作り遊ぶ子どもいた。色活動を通して様々な色を思い浮かべ自分なりに描くことを楽しむ姿が見られた。

(0歳児)

- ・「赤だよ」と声掛けをすると、赤を探す様子が見られ「あーか。」と見つけて教えてくれる姿があった。
- ・「青はどれかな」と声掛けをすると青を探しこれと指さす姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

色を見るだけでなく、色に触れるという事にも重点を置き、活動を考えていった。実際に作った物を飾っておく事で、より注目を集め、興味を示す姿が見られていた。同じ活動でも、時期をずらしたり、回数を重ねていく事で、子ども達の反応が異なったり、1つの活動でもそれぞれが見せる反応が異なったりと、子ども達の姿から気付かされることも多くあった。その為、1度で活動を終わらせずに、何度も行ったり、活動の場所を変えたりする事で、より視野が広がり興味関心が深まっていくと感じた。今後も、様々な形で色を見て、触れて親しんでいき、活動を広げていきたい。

施設名	足立北綾瀬雲母保育園
施設所在地	東京都足立区大谷田5-26-19
法人名	株式会社モード・プランニング・ジャパン

1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由>

身近な物から聞こえる音に触れる中で、叩く・振る・こするなどの動きによって音が変わることに気づき、楽しむ姿が見られた。また、楽器遊びや環境音に耳を傾ける中で、「大きい音」「小さい音」など、音の違いに反応したり、音から物や動作を連想する様子も見られたため、このテーマに設定した。

2. 活動スケジュール

2025/11月 鈴など楽器を鳴らし音の違いや響きを探究
2026/1月～

- ・鈴、タンバリン、カスタネットを使って音を出す活動
- ・音楽に合わせて楽器を鳴らし奏でる活動
- ・音楽に合わせて体を動かし、リズムや音の変化を感じる活動
- ・初めて見る楽器に触れてみる活動

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

トライアングル・グロッケン・ウッドブロック

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・鈴、タンバリン、カスタネットなど楽器を使って音を出す活動をし音に触れる。
- ・知っている曲に合わせて音を出したり、音に合わせて体を動かし表現活動を行った。
- ・ウッドブロックやグロッケンなど見たことない楽器に触れて音を出してみた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・「どんな音がするかな」「振ったら音は変わるかな」と声掛けをし音への興味を促した。
音が鳴ると驚く表情もあったが、慣れると自ら音を出し笑顔で楽器を使う姿があった。

・音の大きさや鳴り方の違いに気付き始め、「シャカシャカ鳴っているね」「大きい音だね」とどんな音が分かるよう声掛けをした。

それによりこれはどんな音なのか子どもたち自身分かるようになり、子ども同士で音を出し合い自然と関わる姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

繰り返し楽器に触れる中で、音を出すことへの興味や楽しさが広がっていった。音の活動を通して、音への興味や関心が深まるとともに、音を感じながら体を使って表現する楽しさを味わうことができた。今後の活動として、楽器遊びや音楽に合わせた活動を継続し、音の違いやリズムを感じながら、体を動かす楽しさを味わえるようにしていく。

施設名	足立北綾瀬雲母保育園
施設所在地	東京都足立区大谷田5-26-19
法人名	株式会社モード・プランニング・ジャパン

1. 活動のテーマ

<テーマ>

言葉

<テーマの設定理由>

(4・5歳児)
言葉への関心が高まり、真似をしながら表現する事を楽しめる時期である為、英単語や簡単なやり取りを取り入れる事で、「分かる・伝わる」喜びを感じ、自信に繋げていきたいと考えた。また、正解・不正解にとらわれず、楽しく参加する中で異文化への興味やコミュニケーション意欲を育むことをねらいとした。

(3歳児)
子どもたちが新しい言葉に興味を示し、真似をして発音したり、やりとりを楽しんだりする姿が見られる事から、英語を「学ぶもの」ではなく、「使って楽しむもの」として体験できる機会を設けたいと考え、本テーマを設定した。

2. 活動スケジュール

2025/6月 週1回/15分の英会話講師による英会話活動開始
英語の歌や英語に触れる保育活動の実施

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

PC、プロジェクター、イラストカード、絵本
保育者が笑顔でゆったりと関わり、子どもが英語をまねして声に出しやすい雰囲気を大切にしたい。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・講師による英会話活動の実施

音楽に合わせて身体を動かしながら英語のリズムや表現活動をした。

イラストカードを使用して英語のリズムや発音の違いを感じた。

英会話活動をととして異文化にも興味をもち講師に質問をし文化を学んだ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

うまく発言できない、恥ずかしがる子がいたため、最初は保育士が発言することで子どもたちも触れやすくするよう声掛けをした。

子ども同士英単語を使いながら会話をする様子が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

講師との簡単な挨拶や月ごとのテーマ（動物・体の部位・食べ物・人）に沿った活動を繰り返す事で、子ども達は安心して参加でき、発音や表現を真似をしながら身近な言葉として理解しようとする姿が育まれた。

プロジェクターや音声、イラストなどを活用した環境により、視覚と聴覚の両面から英語を感じる体験ができ、子ども達の理解や興味を更に深めることができた。

また、「知りたい」「言ってみよう」という気持ちを原動力に、問いをもったり試したりする姿が育ち、探究活動としての広がりや深まりが感じられた。正解にこだわらず挑戦できる雰囲気の中で、間違えることを恐れずに表現する姿が増え、自信や意欲にもつながっていった。さらに、友だちの声に耳を傾けたり、順番を守りながら参加したりする中で、コミュニケーションの基礎となる力や、相手を意識した関わりも育まれていった。今後も、子ども一人ひとりの気づきや興味を大切にしながら、遊びや生活の中で英語に触れる機会を継続的に取り入れ、楽しみながら主体的に探究する経験へとつなげていきたい。